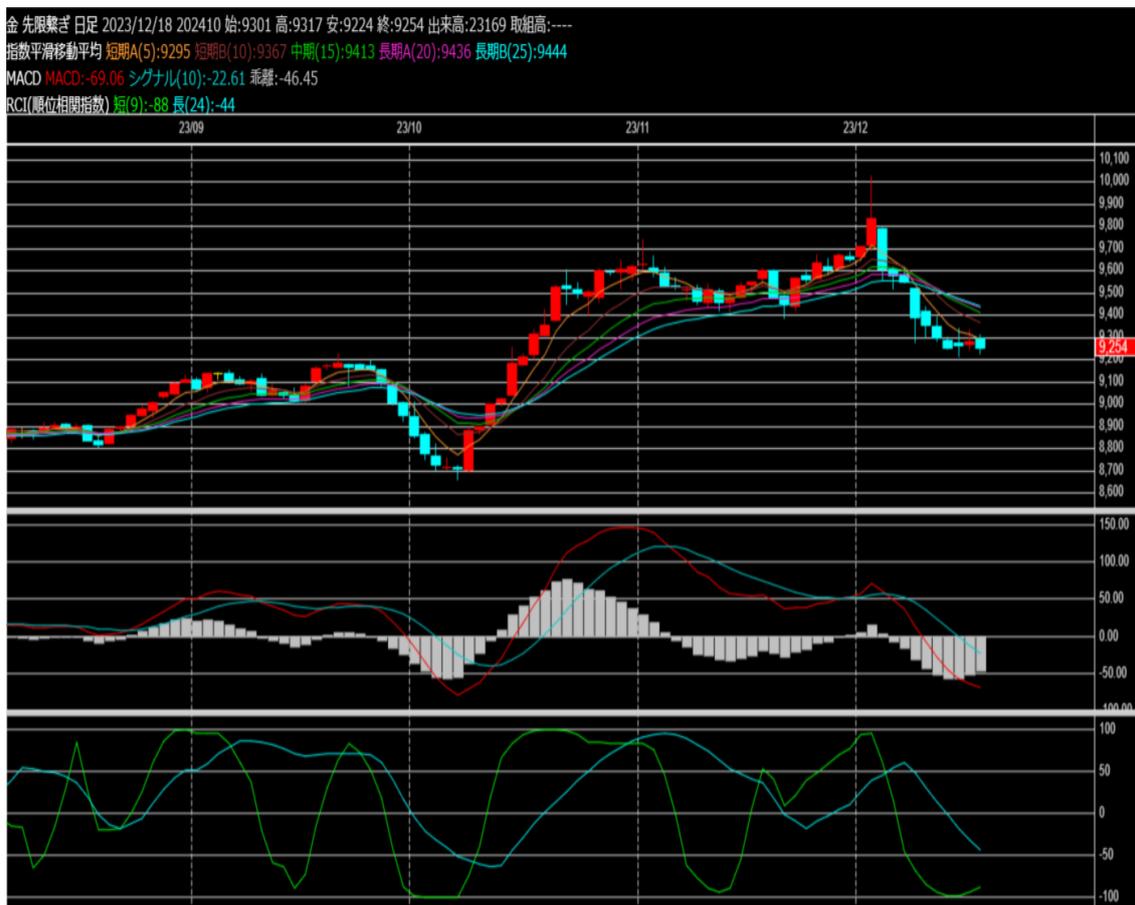


## <金標準、日銀金融政策決定会合を経て 9500 円へ・・・>



(出所：オアシス)

消費者物価指数 (CPI) から始まったイベントは、インフレ抑制を示す思惑から一転して FOMC では、メンバーが予想した 2024 年の金利動向では 9 月の会合では 2 回の 0.5% の利下げを示唆していたが、今回は 3 回の 0.75% の利下げを予想し、またパウエル FRB 議長が記者会見でも利下げ開始がいつ適切になるかについて今回の FOMC の会合で議論した事を認めるなど、想定外のハト派の内容となっている。また ECB 理事会では、ラガルド ECB 総裁は FOMC と真逆な「利下げについては全く議論しなかった」と発言するなど、為替市場ではドル安が加速し、NY 金は 1987.9 ドルから 2062.9 ドルまで大きく反発している。しかし円建ての金標準先物は、FOMC を受けて為替市場では 4 円の円高の動きを示した事から 9270 円前後で下げ止まる値動きを見せている。しかし今週 19 日に開催される日銀金融政策決定会合では、マイナス金利の解除もなく、緩和策継続で終わる可能性が高く、円高から円安へ移行する可能性が強まると思われ、円建て金価格は巻き戻しを見せて来ると思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** が下げながら、**シグナル** も下げている。RCI では **短期** が下げ止まり、**長期** が下げるなど強気のサインは見せていない。しかし 10 月初旬のからのテクニカルのパターンが類似しており、9500 円へ向けた値動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,470,000 円(2023 年 12 月 18 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2023 年 12 月 18 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>